

令和6年度事業経過報告

自令和6年4月1日至令和7年3月31日

令和6年度の事業活動は、事業計画及び収支予算に沿って諸事業の遂行に努め、保安の確保と取引の適正化等定款の目的に沿った事業を着実に推進して参りました。

保安対策事業は、「ＬＰガス安全高度化計画2030」安全高度化指標の達成に向け、（一社）全国ＬＰガス協会『ＬＰガス安心サポート推進運動』でアクションプランと連動した実施計画を定め、保安高度化講習会の実施や保安ガイドの配布、広報誌「エルピー東京」を活用し、消費者起因事故対策・販売事業者起因事故対策・自然災害対策・保安基盤の整備に関する周知に努めました。令和6年に都内で発生した液石法に基づくＬＰガス事故件数は14件となっており、令和5年より5件増加、2年連続の前年対比増加となりました。特に令和6年はＬＰガス事業者以外の工事による所謂他工事事故が4件発生しており、対策が必要となっております。

令和6年4月2日には、ＬＰガスの商慣行是正に向け、液石法施行規則の一部を改正する省令が公布されました。同年7月2日からは「過大な営業行為の制限」、「ＬＰガス料金等の情報提供」の改正事項が施行されております。広報誌「エルピー東京」を通じた情報提供に加え、6月に東京都との共催で省令改正説明会を実施し、実効性確保に向けた取り組みをおこないました。

また、令和6年は能登半島地震や日向灘地震の発生、大雨による被災等災害が頻発した1年でした。特に日向灘地震では「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」発令は記憶に新しいところです。これまで南海トラフの発生確率は30年以内に「70％～80％」としていましたが、「80％程度」へ引き上げることが発表されております。首都圏直下地震への対策も含め、有事の対応実効性の取り組みとして、継続的なＭＣＡ無線訓練を実施しております。

需要促進事業の一環として、「東京都予算編成に関する知事ヒアリング」に令和6年も参加し、要望書提出をおこなっております。令和6年度予算編成において要望をおこなった「避難所等への『ＬＰガス仕様設備』等の設置推進要望」として常設に関する助成金の予算化、「保安講習会の充実強化」が本年度は実を結び、区市町村へ避難所等への発電機とＬＰガス燃料設置にかかる入札案件の公募やＬＰガス保安機器の展示を含む保安高度化講習会を実施することができました。

協会組織は、平成28年以降経費の見直しをおこなって参りましたが、直近の会員数の大幅な減少が続いております。今後の協会事業活動を継続するためにやむなく会費改定に関する協議をおこなったところです。事業の見直しも視野に今後の運営も検討してまいります。

各事業の具体的な実施状況は以下に列記するとおりです。